

クルマとして美しいか、先進性はあるか。新時代を象徴するセダンデザインの追求

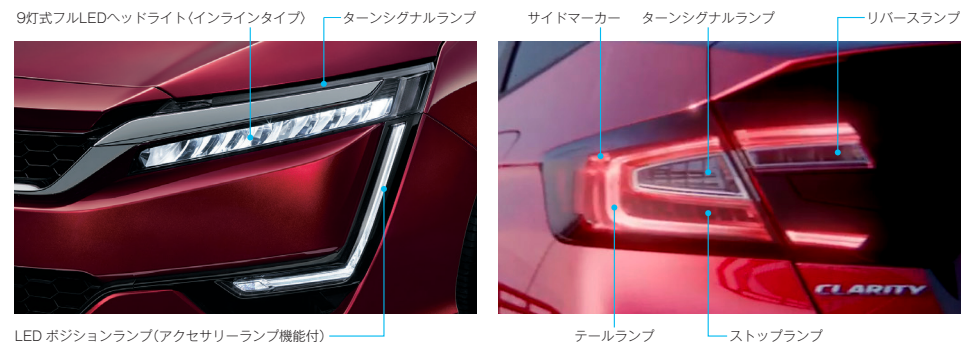
力強い堂々とした車格と、流麗で先進的な美しさの融合

Hondaが世に送り出す究極のクリーンカーをデザインするにあたり、新しい時代の幕開けを象徴するようなエクステリアデザインを提案したいと考えました。燃料電池自動車を選択される方の所有欲とステータス性を満足させるために重視したのは、クルマとして堂々としたプロポーションと先進的で美しいセダンフォルムを体現することでした。流麗なワンモーションシルエットのキャビン前後で三次元に絞り込みながらブラックアウトすることで、ガラスドームのキャノピーのような広く明るい空間を表現。また、ロー＆ワイドなボディーは18インチアルミホイールやリアの大型スポイラーによって引き締めることで、クリーンカーでありながらもスポーティーさを持たせています。この2つを融合することによって、新時代のクルマを感じさせるセダンデザインを創出しました。



シャープで先進的な印象を与える、フルLEDのエクステリア灯体

フロントでは、ハイビーム3灯+ロービーム6灯の9灯式フルLEDヘッドライト(インラインタイプ)が先進的な表情を実現し、ワイド感を強調するL字型のポジションランプが独自性を主張。ライン状に発光するフロントターンシグナルランプがよりいっそう精悍なイメージを強調しています。一方、ワイドなシグネチャーを表現したリアコンビネーションランプは、テールランプに肉厚の導光レンズを採用し、ガラスの塊を間接光で浮かび上がらせるような情緒感を演出。リアターンシグナルランプはライン発光と面発光の組み合わせによって、奥行きのある光り方を実現しています。



機能とデザインを融合した18インチアルミホイール

ダイナミックな回転を強調するスポークデザインの18インチアルミホイールに、軽さと空力効果を表現したフィン形状のホイールキャップを組み合わせました。樹脂素材による軽量化を実現するとともに、ブレーキの放熱効果と優れた空力性能を両立し、航続距離の延長に貢献。2つの素材のコンビネーションからなる先進的なデザインを実現しています。

